

創業計画書の解説1(創業計画書とは?)

1 創業計画書とは?

ここでいう創業計画書とは、日本政策金融公庫の新規開業ローン関連の融資を申し込む際に必要となる事業内容とその見通しなどを説明する概要書のことを言います。あくまで日本政策金融公庫の書類名ですが、公庫以外からの融資や、融資の必要がないとお考えの場合でも、概要書として役立ちます。

2 なぜ、当サービスでは創業計画書を取り上げているのか?

日本政策金融公庫は融資条件が他と比べて好条件であり、借入れが必要な場合の第一候補になる可能性が高いため、すぐにご利用いただけるようその書式を採用しています。(これだけを作成するサービスもあるほどです。)

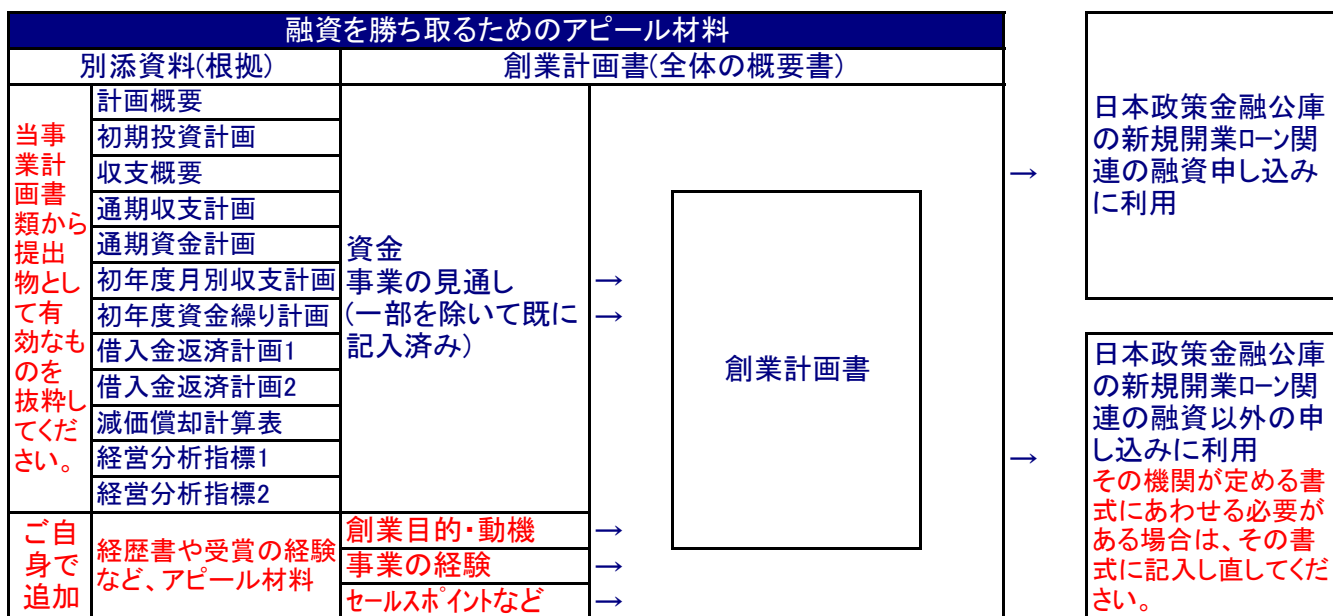
また、他の金融機関への申し込み時にも似たような書類が必要になり、そのための雛形として有効にご利用いただけます。

3 事業計画書とは?

事業計画は、本来、ご自身が、事業の構想が実現可能かどうか、また、その見通しは、資金は、など、実現性の詳細を数値で確認するためのもの。事業計画書はそれを書類にしたものです。ただ、融資など他者に説明するための書類としても同様に呼ばれるケースが多いのですが、両者は微妙に違うものです。ご自身の判断のためのものは、事業計画を決定するためのものであり、さまざまな角度からのチェック材料となる必要があり、複数のケースが比較できるぐらいのものが理想なのに対して、融資を申し込む際に必要なものは、事業計画自体は決定後であり、その成功の確率が高いことをアピールするためのものでなければなりません。(前者のほうがより高度なものでなければなりません)当サービスの事業計画書は、その両方の役割に活用していただけます。特に、融資申し込みにご利用の場合は、創業計画書を概要書として、あわせて提出されると、より効果的です。

4 創業計画書と事業計画書の関係

創業計画書は、事業の概要説明書(公庫が指定する最低限の事業説明書)にすぎません。融資獲得の可能性を高めるにはその根拠を説明する別添書類が不可欠です。そのもっとも困難な資金や収支見通し、資金繰りなどの詳細説明資料として本サービスの事業計画書が効果を発揮します。これだけ詳細で多彩にわたる書類を添付できるケースは少なく、その時点で優位に立つことができます。



5 創業計画書作成の最重要ポイント

融資の条件が優遇されているほど、その審査基準は厳しいものです。良い条件で資金を借りようとするれば、その厳しい審査基準を突破しなければなりません。提出義務がある書類を取りあえず書く、提出さえすればよいというものではありません。[資金を借りれば、必ず成功する、計画通り返済できる。]ということを説明し、説得しなければならないのです。特に事業への思いやなぜ事業化を考えたのかなど、ご自身でないとわからないことを伝えることが、重要なポイントとなります。このことを念頭に創業計画書を完成させてください。

6 創業計画書の見本(日本政策金融公庫)

[創業計画書記入例\(日本政策金融公庫\)へのリンク](#)

記入例のように作成したとしても融資がおりるとは限りません。これが最低レベルだと考えてください。